

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 10 日

事務事業名		スポーツ推進委員運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続		事務事業No. 030403000094	
						単独/補助		090501	
政策体系		政策体系上の位置付け				主要事業		所属課	
総合計画の施策名		0304 生涯スポーツ活動の振興				対象外		スポーツ振興課	
政策名		03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				対象外			
施策名		04 生涯スポーツ活動の振興				対象外			
基本事業名		03 スポーツ団体の充実とリーダーの育成				対象外		グループ スポーツ振興G	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		一般会計				単年度繰返し (平成18年度~)			
会計		保健体育総務事業				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
款									
項									
目									
事業									
細									
01									
10									
06									
01									
02									
00									
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>市から委嘱 (2年間) を受けたスポーツ推進委員 (定数30名) が、住民のスポーツ活動促進のための組織育成や行政機関の行うスポーツに関する行事及び事業に協力し、住民のスポーツについての理解を深めてゆく事業である。(定数30名: 現在の委嘱者は29名)</p> <p>【県参画事業】 28年実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県スポーツ推進委員協議会負担金 10,200円</li> <li>スポーツ推進委員協議会会費 15,000円</li> <li>全国スポーツ推進委員研究協議会会費 4,740円</li> <li>全国スポーツ推進委員運営普通会員負担金 15,000円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>報酬・費用弁償支払業務</li> <li>市スポーツ推進委員会 (役員会・総会・定例会) の開催業務</li> <li>推進委員の委嘱業務</li> <li>全国・関東・県スポーツ推進委員功労者表彰推薦業務</li> <li>学校施設開放巡回業務 (8月)</li> <li>推進委員と市民との合同研修会業務 (9月)</li> <li>体育協会主催「ふれあいウォーク」への協力参加業務 (10月)</li> <li>県女性スポーツ推進委員研修会参加業務</li> <li>県西地区スポーツ推進委員長協議会・県スポーツ推進委員協議会への参画業務</li> <li>さくらマラソン大会運営・協力業務</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
推進委員への委嘱・報酬・費用弁償の支払 市民との講習会やし主催のイベントへの声かけ	大会及び研修会開催数 (スポーツ推進委員会)	回	11.00	10.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
スポーツ推進委員と市民	市スポーツ推進委員	人	30.00	29.00	29.00	28.00	28.00
	市民 (常住人口)	人	42,632.00	42,000.00	41,616.00	41,232.00	40,848.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
・スポーツを通じて健康で明るい生活が送れる	スポーツを通じて健康で明るい生活が送れている市民	%	79.00	79.00	79.00	80.00	80.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費	財源内訳	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定総投入量
量	費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	533	804	1,362	722	722
		事業費計 (A)	千円	533	804	1,362	722	722
正規職員従事人数	人	1.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人		
述べ業務時間	時間	366.00	433.00	430.00	430.00	430.00		
人件費計 (B)	千円	1,062	1,256	1,247	1,247	1,272		
トータルコスト (A)+(B)	千円	1,595	2,060	2,609	1,969	1,994		

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)				29年度事業費 予算 (千円)			
	01 報酬	465			01 報酬	540		
	09 旅費	153			08 報償費	35		
	11 需用費	55			09 旅費	120		
	14 使用料及び賃借料	9			11 需用費	490		
	19 負担金補助及び交付金	122			19 負担金補助及び交付金	177		
	合計	804			合計	1,362		

(4) 当該年度の実施内容

29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>		

事務事業名	スポーツ推進委員運営事業	事務事業No.	30403000094	所属課	スポーツ振興課
-------	--------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	旧3町村よりの継続事業。スポーツ振興法(昭和36年法律第141号)の規定に基づき桜川市スポーツ推進委員規則を定め、スポーツの推進のための事業実施に係る連絡調整を図る。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいウォークは、これからもずっと続けてほしい。</li> <li>平成31年開催の国体に向けて、会場の気運を盛り上げ、開催地からの選手の発掘を図ってほしい。</li> <li>競技性がないほうが参加しやすい。</li> <li>市内学校施設開放事業について近年、校庭、体育館等の使用方法や学校敷地内での喫煙等の、苦情があるため、見回りを行い、各種団体への助言を行う。</li> </ul>
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	委員の高年齢化・男女の比率当を考え、構成については検討していく。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的妥当性	<p>①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 結びついている</p> <p>第1次総合計画第3章豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくりで、総合型スポーツクラブの拡充を政策として掲げているが、スポーツ推進委員とは密接な連携がある。</p>
目的妥当性	<p>②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 妥当である</p> <p>スポーツ推進委員を中心に、今後少子高齢化が進む中でのスポーツを推進することを、市が行なうことは妥当である。</p>
有効性	<p>③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない</p> <p>ニュースポーツといわれる、スポーツ吹き矢・バランスボールなどを広く市民に紹介をして、今まで運動をしていなかった市民にもスポーツに興味を持ってもらうことを実施していくので、更なる向上の余地はある。</p>
有効性	<p>④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 影響有</p> <p>スポーツ推進委員が桜川市のスポーツ行政の企画立案を行なうことであるので、影響は大きい。</p>
有効性	<p>⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる</p> <p>具体的な手段、事務事業名   総合型地域スポーツクラブ支援事業</p> <p>スマイルクラブと連携を図ることで、より、生涯スポーツの推進が図られる。</p>
効率性	<p>⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない</p> <p>条例に基づき、スポーツ推進委員の会議、事業への出席には報酬が伴うので、事業費(報酬)の削減は活動の停滞につながる。</p>
公平性	<p>⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である</p> <p>特定の個人や集団に利益等が生じないため、受益者負担はなじまない。</p>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<p>①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>すべての市民が生涯を通して、年齢や体力に応じてスポーツ活動を行う「生涯スポーツ社会」の実現に向けて、事業を実施していく。</p> <p>スポーツ推進委員構成を見直し、29名になった。今後も、委員の高年齢化・男女の比率等を考え、構成については検討していく。</p>																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<p><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>(複数回答可)</p> <p><input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善</p> <p><input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果																					
<p>スマイルクラブと連携して、ニュースポーツの「スポーツ吹き矢・バランスボール」などを広く市民に紹介すること、今まで運動をしていなかった市民にもスポーツに興味を持ってもらうことにより、スポーツを通じて健康で明るい生活が送れるようになってくる。</p>	<p>成果優先度評価結果 ④</p> <p>コスト削減優先度評価結果 ⑧</p>																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
<p>課長確認後の評価</p> <p><input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止</p> <p><input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出</p>	<p>確認欄</p> <p><input type="checkbox"/></p>